

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(再編計画策定に係る事業)

平成 年 月 日

協議会名:福山・笠岡地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者, 地域住民との合意形成 ・公共交通のサービス内容の検討 ・新規路線に関する需要調査 ・既存路線の効率化の検討 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者と地域の要望や効率的な運行について協議を行い, 地域の公共交通の状況を整理した。 ・地域住民と協議を行い, 移動需要を把握することができた。 ・笠岡市, 福山市間の新規路線(笠岡・福山買物ライナー)の実証実験(12月1日~2月28日)を行い, ニーズの把握を行っている。 ・福山市中心部循環路線(まわローズ)の路線見直し(新規区間(福山駅北東部)の運行)の実証実験を予定しており, ニーズの把握を行う。 ・支線交通のひとつとして, 鞆の浦にてグリーンスローモビリティの実証調査(11月16日~29日)を行い, 多くの利用があった。 ・地域に適した交通モード, ルート, ダイヤについて確定し, 今後の協議会の検討を経て福山・笠岡地域公共交通再編実施計画としてとりまとめる。 	<p>A</p> <p>事業が適切に実施された</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福山・笠岡地域における路線バス等の再編は, 「福山・笠岡地域公共交通網形成計画」で定めた地域公共交通ビジョン実現を目指すために行う。 <p>【地域公共交通ビジョン】</p> <p>「誰もが移動しやすく, 人の交流が活発になる地域公共交通の実現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また再編のコンセプト(根幹をなす考え)を, 以下に示す。 <p>【福山・笠岡地域における再編のコンセプト】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① まちづくりと連携した地域公共交通網形成の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 豊かな市民生活を支える利用しやすい地域公共交通網の構築 ◆ 需要に応じた効率的かつ持続可能な地域公共交通網の構築 ② 市民, 事業者, 行政などの協働による地域公共交通づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・このコンセプトに従い, 引き続き事業者と協議して詳細な再編内容や再編時期を確定させ, 福山・笠岡地域公共交通再編実施計画としてとりまとめる。

平成30年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会（再編計画策定事業）の概要



福山・笠岡地域の概要

- 福山市において平成18年3月に1市1町が合併
- 人口 515,379人（福山市464,811人 笠岡市50,568人）（平成27年10月現在）
- 面積 654.53 km²（福山市518.14 km² 笠岡市136.39 km²）

法定協議会の構成員

広島県 岡山県 福山市 笠岡市 (株)中国バス (株)井笠バスカンパニー 鞆鉄道(株) 北振バス(株)
西日本旅客鉄道(株) 井原鉄道(株) 走島汽船(有) 笠岡地区旅客船協会 (一社)広島県タクシー協会
(一社)岡山県タクシー協会 中国地方整備局 広島県東部建設事務所 岡山県備中県民局 福山東警察署
笠岡警察署 福山市自治会連合会 笠岡市行政協力委員長協議会 学識経験者 中国運輸局

地域公共交通の現状

※高齢化率：28%（福山市27% 笠岡市35%）
平成27年10月現在

[鉄道]JR山陽本線, JR福塩線, 井原鉄道井原線
[航路]鞆-走島航路, 笠岡諸島航路(旅客船, フェリー)
[4条バス路線]中国バス, 鞆鉄道, 井笠バスカンパニー, 北振バス
[乗合タクシー]井笠バスカンパニー(4地区)
[自家用有償旅客運送]NPO法人かさおか島づくり海社(笠岡市北本島)
[移動支援制度]高齢者おでかけ支援事業(福山市), 買物タクシー(笠岡市)

地域公共交通の現況



具体的な課題・問題点

- ①移動サービス維持が困難な地域においても交通手段を途絶えさせない仕組みの構築
- ②地域住民が主導的な立場で移動サービスに関与するための環境づくり
- ③生活行動や利用実態に見合った利便性の高い地域公共交通への見直し
- ④高齢化が進む地域ニーズに見合った移動サービスの提供
- ⑤両都市間の人流を支援し、かつ新しい交流創出に繋がるような移動サービスの充実



調査事業の実施

調査事業の概要

- ・交通事業者, 地域住民との合意形成
- ・公共交通のサービス内容の検討
- ・新規路線に関する需要調査
- ・既存路線の効率化の検討

協議会における検討

協議会の開催状況 2回開催

- ・第1回(8月9日)
事業の進め方の確認
- ・第2回(1月10日)
事業評価について

地域住民の意見の反映

・再編実施を予定している地域や現行の路線バスに対して改善要望がある地域に対して、住民説明会を行い、要望等ヒアリングを19回行った。

〔 緑陽町4回, 服部・福相・加茂学区2回,
神辺・有磨・宜山・野々浜・大津野・東村
学区, 城見・城見台・茂平地区1回 〕

事業実施の適切性

・地域公共交通再編実施計画策定に必要な調査ができています。

調査事業の結果の概要

- ・交通事業者と地域の要望や効率的な運行について協議を行い、地域の公共交通の状況を整理した。
- ・地域住民と協議を行い、移動需要を把握することができた。
- ・笠岡市、福山市間の新規路線(笠岡・福山買物ライナー)の実証実験(12月1日～2月28日)を行い、ニーズの把握を行っている。
- ・福山市中心部循環路線(まわろーズ)の路線見直し(新規区間(福山駅北東部)の運行)の実証実験を予定しており、一定のニーズが見込めている。
- ・支線交通のひとつとして、鞆の浦にてグリーンスローモビリティの実証調査(11月16日～29日)を行い、多くの利用があった。
- ・地域に適した交通モード、ルート、ダイヤについて確定し、今後の協議会の検討を経て福山・笠岡地域公共交通再編実施計画としてとりまとめる。



地域公共交通再編実施計画の計画策定に向けた方針等

・福山・笠岡地域における路線バス等の再編は、「福山・笠岡地域公共交通網形成計画」で定めた地域公共交通ビジョン実現を目指すために行う。

【地域公共交通ビジョン】

誰もが移動しやすく、人の交流が活発になる地域公共交通の実現

・再編のコンセプト(根幹をなす考え)を、以下に示す。

【福山・笠岡地域における再編のコンセプト】

- ① まちづくりと連携した地域公共交通網形成の推進
 - ◆ 豊かな市民生活を支える利用しやすい地域公共交通網の構築
 - ◆ 需要に応じた効率的かつ持続可能な地域公共交通網の構築
- ② 市民、事業者、行政などの協働による地域公共交通づくりの推進

・このコンセプトに従い、引き続き事業者と協議して詳細な再編内容や再編時期を確定させ、福山・笠岡地域公共交通再編実施計画としてとりまとめる。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成 年 月 日

協議会名:福山・笠岡地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画推進事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>福山・笠岡地域総合時刻表の作成 ・福山市内及び笠岡市内にある路線バスの全路線の時刻表を集約したポケットハンドブック型の総合時刻表を作成する。これは乗継の利便性の向上、公共交通の利用意識の向上を目的として作成し、市内への転入者や主要な乗継拠点などで配布する。 ・3月末に発行。(20,000部)</p>	A	事業は適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗りたい便の時刻, 乗継情報など, 利用者が必要な情報の表示を工夫し, 分かりやすさの向上を図る。 ・公共交通の情報は継続的に提供することが必要なため, 定期的に掲載内容を更新し, 引き続き利用者の利便性の向上を図る。

平成30年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会（計画推進事業）の概要



福山・笠岡地域の概要

- 福山市において平成18年3月に1市1町が合併
- 人口 515,379人（福山市464,811人 笠岡市50,568人）（平成27年10月現在）
- 面積 654.53 km²（福山市518.14 km² 笠岡市136.39 km²）

法定協議会の構成員

広島県 岡山県 福山市 笠岡市 (株)中国バス (株)井笠バスカンパニー 鞆鉄道(株)
北振バス(株) 西日本旅客鉄道(株) 井原鉄道(株) 走島汽船(有) 笠岡地区旅客船協会
(一社)広島県タクシー協会 (一社)岡山県タクシー協会 中国地方整備局
広島県東部建設事務所 岡山県備中県民局 福山東警察署 笠岡警察署
福山市自治会連合会 笠岡市行政協力委員長協議会 学識経験者 中国運輸局

地域の概況・公共交通の概況・問題点

市町村全体について ・市町村の概要

公共交通の現状(系統数等)

- ・鉄道: JR山陽本線, JR福塩線, 井原鉄道井原線
- ・4条バス路線: 中国バス, 鞆鉄道, 井笠バスカンパニー, 北振バス
- ・自家用有償旅客運送: NPO法人かさおか島づくり海社(笠岡市北木島)
- ・航路: 鞆-走島航路, 笠岡諸島航路(旅客船, フェリー)
- ・乗合タクシー: 井笠バスカンパニー(4地区)
- ・移動支援制度: 高齢者おでかけ支援事業(福山市), 買物タクシー(笠岡市)

- ① 移動サービス維持が困難な地域においても交通手段を途絶えさせない仕組みの構築
- ② 地域住民が主導的な立場で移動サービスに関与するための環境づくり
- ③ 生活行動や利用実態に見合った利便性の高い地域公共交通への見直し
- ④ 高齢化が進む地域ニーズに見合った移動サービスの提供
- ⑤ 両都市間の人流を支援し, かつ新しい交流創出に繋がるような移動サービスの充実
- ⑥ 地域公共交通の利用促進に繋がる多面的な施策の推進

事業実施に際しての目標等

福山・笠岡地域公共交通網形成計画に記載の目標4-1 地域公共交通の利用者数の維持について, 2015年度(平成27年度)は21,447千人だった利用者数を2021年度(平成33年度)に21,500千人とする。



推進事業の実施

推進事業の計画期間

2017年度(平成29年度)～2022年度(平成34年度)

推進事業の実施事業

総合時刻表の作成

本年度事業の取組内容

総合時刻表の作成

本年度事業の結果概要

- ・福山市内及び笠岡市内にある路線バスの全路線の時刻表を集約したポケットハンドブック型の総合時刻表を作成する。(昨年度作成した、福山・笠岡公共交通マップと連携した時刻表とする。)
- ・これは乗継の利便性の向上、公共交通の利用意識の向上を目的として作成し、市内への転入者や主要な乗継拠点などで配布する。
- ・3月末に発行。(20,000部)

事業実施の適切性

- ・プロポーザルで事業提案を募り、事業が適切に実施されている。



事業の今後の改善点

- ・乗りたい便の時刻、乗継情報など、利用者が必要な情報の表示を工夫し、分かりやすさの向上を図る。
- ・公共交通の情報は継続的に提供することが必要なため、定期的に掲載内容を更新し、引き続き利用者の利便性の向上を図る。

※目標に対する現況(公共交通利用者数)

2016年度(平成28年度):21,660千人

2017年度(平成29年度):21,760千人

地域公共交通の現況 別紙

